

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービス donna		
○保護者評価実施期間	令和7年12月16日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	法人全体で活動チームを組み、各事業所のリーダーを中心に活動会議を行なっています。それぞれの事業所でも情報交換をしながら活動の幅を広げつつ、子どもたちが楽しみながら参画できるプログラムの立案に努めています。	チームリーダーを中心しつつ、多職種の目線を共有しながらより充実したプログラムの立案を図ってまいります。また、他事業所への見学や研修、SNS等での情報収集も行うことで、新たなアプローチ方法を見出していきたいです。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	保護者とは送迎時や面談、来所時に密に連絡を取り合い、お子さんの発達状態や課題についての共有に努めています。	共有内容をもとに作成した個別支援計画を通して、他スタッフともその理解を深めていけるように面談後に共有していきたいです。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	毎月防災訓練を実施しており、様々な災害を想定し、必要な知識をつけながら、他の事業所も交えながら避難・救出等の訓練を積むことができるよう工夫しています。	訓練に参加できない職員や、ご家族に対しても、共通の認識を持っていただけるよう情報発信をしていきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	地域の行事等には参加できていますが、子ども同士の活動の機会を設けるには至っていないため、工夫が必要だと考えます。	イベント等を通して、安全に留意しつつ障がいのない子ども同士の交流の機会を設けていけるようにしていきたいです。
2	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	「ガイドラインの総則」というワードを出しながらの職員間での共有はできていなかったため、その周知ができていないことが課題だと考えます。	ガイドラインの掲示等職員への周知ができるようにしていきたいです。
3	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者による外部評価を現在は実施できていないためその方法を模索していく必要があると思います。	他事業所の状況をうかがいつつ、外部評価の機関を模索していきたいです。